

都小研 会報

・発行所
 ・東京都小学校社会科研究会
 ・東京都板橋区上板橋1-3-1
 ・発行人 和田幹夫
 ・編集人 小澤伸生

全小社研東京大会を価値ある大会に

「オール東京」でこれからの社会科を発信し

東京都小学校社会科研究会会長
 板橋区立上板橋第四小学校長

和田幹夫



五月の東京都小学校社会科研究会総会において、昨年度に引き続き、会長を拝命いたしました和田幹夫と申します。どうぞよろしくお願いたします。

いよいよ、令和五年度第六十一年全国小学校社会科研究協議会研究大会東京大会の年度が始まりました。本研究会では、令和二年度より「社会とつながり未来を創る子供の育成」社会的現象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する社会科

学習を通して「を研究主題に掲げ、自分と社会とのつながりを意識しながら主体的・協働的に追究し、よりよい社会のあり方を考え、その形成に参画していかうとする子供の育成をめざして、研究に取り組んできました。

この間、三年半にわたるコロナ禍もありました。しかし、「研究の歩みを止めない」を合い言葉に、内容や方法を工夫し、研究をつなげてきました。

また、東京都全体でこれからの社会科授業のあり方を提案すべく、都小社研、四つの会場校、都内各地域が一つになり、授業実践と議論を積み重ね、子供たちの学びの姿を基に、研究を深めてきました。それとともに、

少しずつ研究に参加して下さる先生方も増え、研究の裾野も広がってきています。この成果を十一月九日・十日の東京大会で力強く全国へ発信していきま

す。

今回の東京大会をより価値ある大会にするために、今年度は、以下のことに重点を置き、活動を充実していきます。

- (1)大会理論のブラッシュアップと、その具現化を図る授業づくり
- (2)大会実行委員会を中心とした組織的な研究推進及び大会運営
- (3)大会報告書、記録の充実
- (4)夏季研究会の充実
- (7)八月十七日(木)全体会

講師：文部科学省
 初等中等教育局教科調査官

小倉勝登 先生

会場：
 板橋区立上板橋第四小学校
 ・ 研究理論の充実と課題提案
 リハーサル

(1) 八月十八日(金)

会場校別研究会

会場：
 新宿区立四谷小学校
 小金井市立小金井第一小学校
 中央区立日本橋小学校

世田谷区立代沢小学校
 ・ 会場講師のご指導
 ・ 授業づくり及び授業提案
 (5)「都小社研指導計画(第五次)」及び「都小社研授業づくりガイドブック」の改訂

(6)夏季研修会の開催

・ 製紙、酪農、ガス・下水道、製鉄・伝統工芸に関する臨地研修

(7)全中社研・都中社研との連携
 これらの研究活動の様子や成果は、本研究会ホームページ等を通して、積極的に発信していきます。どうぞご活用ください。

この他、都内各地域の社会科部の皆様には、大会に向けて研究のみならず、運営面でもご協力をお願いすることとなります。

ご多用の中、誠に恐縮ですが、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

十一月九日・十日の東京大会、公開授業や提案を基にこれからの社会科授業について都内はもとより全国の先生方と共に熱い議論を交わしましたら幸いです。

大勢の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今年度も、本研究会の活動にご理解、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

今年度は、私にとって、五回目の東京大会があります。今回はOBとしての応援参加になります。大成功を祈念しています。

「勇」退役員あいさつ

都小社研への感謝

前東京都小学校社会科研究会監事
 前江戸川区立本一色小学校校長 和田 敏郎

事業部、副会長、監事として

十一年間、都小社研にお世話に

なりました。事業部では「社会科は現地で学ぶ」という意識を強くしました。「国土探究の会」や「全国大会後の巡検」では、日本全国いろいろな場所を回り、見聞を広めることができました。

退職までに、四十七都道府県すべてで宿泊するという楽しい経験ができたのも都小社研のおかげと感謝しています。

令和二年度、勤務していた江戸川区立本一色小学校において、都小社研の研究発表会を開催することにしました。直前まで、

参集の発表会にする計画で進めて来ましたが、コロナの波と重なり、紙面発表となりました。それでも各学年部会の皆様は本校教員が授業を指導していただいたこと、校長先生方に運営にご尽力いただいたこと

など感謝の念に堪えません。

今年度は、私にとって、五回目の東京大会があります。今回はOBとしての応援参加になります。大成功を祈念しています。

今年度は、私にとって、五回目の東京大会があります。今回はOBとしての応援参加になります。大成功を祈念しています。

今年度は、私にとって、五回目の東京大会があります。今回はOBとしての応援参加になります。大成功を祈念しています。

今年度は、私にとって、五回目の東京大会があります。今回はOBとしての応援参加になります。大成功を祈念しています。

今年度は、私にとって、五回目の東京大会があります。今回はOBとしての応援参加になります。大成功を祈念しています。

今年度は、私にとって、五回目の東京大会があります。今回はOBとしての応援参加になります。大成功を祈念しています。

今年度は、私にとって、五回目の東京大会があります。今回はOBとしての応援参加になります。大成功を祈念しています。

有意義な全国大会に
 前東京都小学校社会科研究会監事
 前東大和市立第四小学校校長 **横尾 康幸**

わざわざ現地まで自分の足を運ばなくても簡単に情報収集できる便利な世の中になりました。しかし、本研究会には、時間と労力をかけ、子供たちの心に響く教材開発に取り組める若い先生方が多くいます。加えて、ICTを効果的に活用し、子供たちの追究活動や学び合いをより活性化させていこうとする取組が増えてきています。たいへん心強く思っているところです。

一見、素晴らしい授業展開に見えていても、実は一部の優秀な子供たちの発言だけで進んでいるといった授業ではいけません。いかにしたらクラス全員が自分の考えをしっかりとって主体的に授業に臨めるか、確かな社会認識や社会参画の意識がもてるか、東来京大会では、各会場校の特色はいかしくつつも、ぜひ、そのところを子供たちの姿で全国に発信していってくださることを切に願っています。これまでいろいろとお世話になりました。心より感謝を申し上げて結びといたします。

令和五年度 各部活動計画

庶務部
 部長 **浦木 義尚**

庶務部は、各部と連絡・調整を図りながら、都小社研の諸事業が円滑に進められるようにするとともに、各地区部長・地区委員とも連携を深め、研究が一層充実するように推進していきます。

そして、今年度は、東京大会の成功のために、「総務部」として諸事業を推進してまいります。

○定期総会、月例研究会、地区部長・地区委員会、夏季研究会、次年度に向けての会の開催案内発送や資料作成、会場準備、受付、運営

○「役員・正副部長・全小社研事務局・地区部長・地区委員名簿」の作成

○東京大会 案内作成・都内発送、運営委員他の募集・委嘱状作成、来賓・講師との連絡、大会引継書のまとめ

会計部
 部長 **中田 伸代**

総会にて、令和五年度予算について報告し、ご承認いただきました。各部、学年部の皆様のご協力に感謝申し上げます。

十一月の東京大会成功に向けて、今年度も研究・運営事業をしつかりと支えられますよう、適切な執行に努めてまいります。ご協力よろしくお願ひします。

事業部
 部長 **大須賀 慎一**

事業部では社会科の教材研究に資する研修会や、会員相互の情報交換を目的にした事業を担当しています。今年度の夏季研修会の予定は、次のとおりです。

○酪農・乳業施設巡検 (7月25日)
 静岡県にある富士朝霧高原の牧場での酪農体験(搾乳・バター作り・酪農家の話)や周辺の酪農施設を見学します。

○ガス・下水道事業巡検 (7月28日)
 東京ガス供給指令センターをはじめガス事業に関わる施設見学と、有明にある下水処理場の施設見学を予定しています。

○製鉄所見学・江戸風鈴絵付け体験 (7月31日)
 千葉にあるJFFスチール東日本製鉄所見学と、江戸風鈴籬原本舗において江戸風鈴作りと絵付け体験を行います。

渉外部
 部長 **柿崎 洋一**

渉外部では、各地区の研究動向をまとめた「各地区のすがた」や研究紀要の発行、関小社研事務局を担当しています。

また、都小社研の地区委員及び各地区の研究部長、OB会員への連絡、各会報等発送、さらに、関小社研理事会の開催、東京大会の支援を行っています。

〈今年度の主な業務〉
 *課題研究会提案者等名簿作成
 *「各地区のすがた」発行
 *「研究紀要第三十四集」発行
 *全小社研理事(部長が担当)
 *関小社研事務局・理事会開催
 *OB名簿の更新・管理
 *総会、会報、全国大会や年度大会の案内送付(都内・OB)
 *夏季研究会への運営協力

広報部
 部長 **小澤 伸生**

広報部は本年度も会報の発行とホームページの充実を目指して活動いたします。都小社研会報は本号第二百四号(都小社研各部活動計画等)、第二百五号

(東京大会報告等)を、全小社研会報は第百十号(東京大会に向けて等)、第百十一号(各都道府県の動向等)の発行を予定しています。

ホームページでは、会報のバックナンバーの他に、東京大会に向けた各種情報、取組の様子なども発信していきます。ぜひご覧下さい。

全小社研
 事務局長 **風見 由起夫**

一 全国大会
 第六十一回 東京大会
 ・令和五年十一月九日(木)
 十日(金)

「社会とつながり未来を創る子供の育成」社会的現象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して」

二 調査研究
 ○各研究団体の組織及び研究課題・事業内容・管内研究校の調査
 ○研究論文の募集と審査
 三 研究成果・調査等の発表

○会報百十号 (九月発行)
 百十一号 (二月発行)
 ○各地域の動向令和五年度版 (八月発行)
 ○研究集録 第五十九集 (三月発行)
 ○ホームページによる情報掲載

調査研究部

(大会理論部)

部長 中嶋 太

よりよい社会づくりに関わり
うとする子供

三 研究の概要

①単元構想

本年度は、十年に一度の全国
小学校社会科研究協議会東京大
会の年です。本大会に合わせて
この十年間、研究を積み上げて
きたと言っても過言ではありま
せん。調査研究部は、東京大会
において、大会理論部と位置付
きます。

一 研究主題(大会主題)

研究主題は、東京大会におい
て、大会主題となります。

「社会とつながり未来を創る
子供の育成」社会的事象の見
方・考え方を働かせ、主体的に
問いを追究する学習を通し
て」

今回の東京大会では、会場校
ごとに主題を設定せず、本主
題・副主題に基づいて、統一的
に研究の実践提案を行います。

二 目指す子供像

○社会をよく見て、様子や仕組
みが分かる子供

○くらべたりつなげたりして特
色や意味を考える子供

○社会的事象への問いをもち、
社会の出来事を自分とつなげ、

・視点に着目して問いについて

調べる学習活動の工夫
比較・分類・関連付け・総合
して考察する学習活動の工夫
社会に見られる課題の解決や
関わり方について議論し考え
を高め合う学習活動の工夫

○子供の学びを確実にする評価
の工夫
・三観点による評価計画の作成
・指導と評価の一体化を図る(教
師が指導に生かす)ための
評価の工夫

・子供が自分の学びを振り返り、
次の学びに生かす評価活動の
工夫

四 主な研究の取組

①学年別授業研究の充実

東京大会の提案の大きな柱と
なるのが、当日公開する授業提
案です。東京大会の四つの会場
校(新宿区立四谷小、小金井市立
小金井第一小、中央区立日本橋
小、世田谷区立代沢小)ごとに、
会場世話人を中心に、会場校の先
生方と共に研究の充実を図った
り、大会当日の授業案について
検討を深めたいします。

②学年別課題研究の充実

東京大会のもう一つの柱が、
学年部会中心にこれまで実践研
究を積み重ねてきた課題提案研

究です。一部に、地区委員会(区
市町村研究)から推薦された実
践を含みます。課題研究助言者
の指導を基に研究の充実を進め
ます。

③夏季研究会の実施

東京大会に向けて、研究面及
び運営面の準備を進めます。

○一日目：八月十七日

板橋区立上板橋第四小学校
全体会(講演会等)、学年別課
題提案分科会、会場校分科会
講演会
文部科学省初等中等教育局
教科調査官
小倉 勝登先生

小倉 勝登先生

○二日目：八月十八日

四谷小学校
小金井第一小学校
日本橋小学校
代沢小学校
各会場校の計画に基づき実施

④東京大会

参加型で、オール東京の体制
で実施します。

○一日目：

十一月九日

浅草公会堂

・開会行事、全体会(大会主題提
案、指導講評)、記念講演
・指導講評
文部科学省初等中等教育局
教科調査官
小倉 勝登先生

・記念講演

東叡山輪王寺門跡門主
・寛永寺貫首

浦井 正明先生

東京学芸大学名誉教授
大石 学先生

徳川林政史研究所
特任研究員(進行)

浦井 祥子先生

○二日目：

十一月十日

・公開授業、全体会、指導講評、
学年別授業研究会、学年別課
題研究会
・指導講評
四谷小学校
大妻女子大学教授
澤井 陽介先生

小金井第一小学校
東京学芸大学教授
櫻井 眞治先生

日本橋小学校
國學院大学教授
安野 功先生

代沢小学校
白百合女子大学教授
中田 正弘先生

令和4年度 収支決算書

令和5年度 都小社研役員・部長・副部長 一覧

1. 収入の部

単位＝円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 会費, 寄付金, 雑収入, etc.

2. 支出の部

単位＝円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 研究大会, 研究調査, 研究用書, etc.

次年度繰越金 1,275,000.- - 1,275,000.- = 0円

令和5年度 収支予算

1. 収入の部

単位＝円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 備考. Rows include 会費, 寄付金, 雑収入, etc.

2. 支出の部

単位＝円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 備考. Rows include 研究大会, 研究調査, 研究用書, etc.

1. 役員

Table with 4 columns: 職名, 氏名, 所属校. Rows include 会長, 副会長, etc.

2. 再任用役員

Table with 4 columns: 監事, 氏名, 所属校. Rows include 加藤雅弘, 佐藤民男, etc.

3. 部長・副部長

Table with 4 columns: 役職, 氏名, 所属校. Rows include 大会実行委員長, 庶務, 会計, 調査研究, 事業, 渉外, 広報.

4. 全小社研

Table with 4 columns: 職務, 氏名, 所属校. Rows include 事務局長, 次長, etc.